

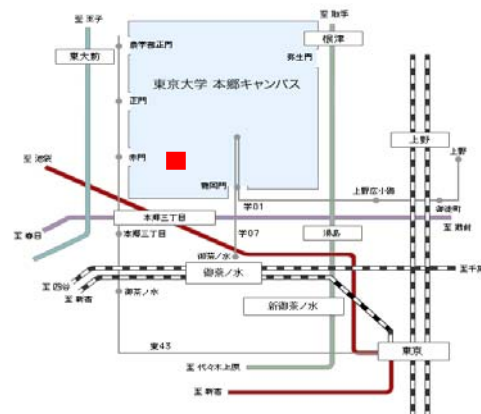
アジア自動車産業研究会 2月特別例会(第88回)のご案内

## ホンダDNA 四輪への継承

アジア自動車産業研究会は、毎月アジアを中心とした世界の自動車産業に関して、第一線の実務経験者、研究者などの方々の貴重なお話を伺い皆様の業務に役立つ知識、研究の一助、幅広い知識の獲得等をめざして継続しております。前身の中国自動車産業研究会、韓国自動車産業研究会から通算しますと10年以上の歴史を持っております。

今回、ホンダOBの皆様のご協力を得て、昭和40年当時二輪車メーカーだったホンダが四輪製造へ移行する時期に、世界のホンダに成長させるために第一線で活躍された皆様にお集まりいただき、生のお話を伺う機会を持つことができました。ホンダの車作りの原点が伺えるものと期待しております。

事前にご連絡いただければどなたでもご参加いただけますので、ご興味ございます皆様、奮ってご参加下さい。



開催日：2008年2月2日(土) 10時～17時  
開催場所：東京大学経済学研究棟 地下1階 第1教室  
(赤門から入って右手にある赤門総合研究棟の奥です)  
〒113-8654 文京区本郷7-3-1

10:00～10:15	『ホンダのものづくり』 東京大学教授 ものづくり経営研究センターセンター長 藤本 隆宏
10:15～11:15	『HONDA独創の車作り』 元本田技術研究所常務取締役/元HRA(ホンダR&Dアメリカズ)社長 渡辺 洋男
11:20～12:20	『自由闊達・チャレンジ・共生～ホンダの人づくり』 元本田技研工業(株)労政企画部長 元ホンダ開発(株)社長 岩本 邦雄
12:20～13:10	(昼食・休憩) ☆当日、お弁当のご用意はありません。学内のレストラン等を当日ご案内いたします。
13:10～14:10	『ホンダ ものづくりの変遷～二輪車から四輪車作りへ』 ものづくり経営研究センター特任研究員 元ホンダエンジニアリング(株)取締役 伊藤 洋
14:15～15:15	『ホンダ四輪営業発展の軌跡』 元広州本田汽車有限公司総経理 (HM地域執行役員) 門脇 轟二
15:30～16:30	『モノづくりの思想(コンセプト)並びに企業展開とその背景』 元ホンダ技研RAD (商品開発総合責任者) / (株)ホンダコムテック社長 有澤 徹
16:30～17:00	質疑応答

参加費：一般 2,000円、学生 無料

★ 参加ご希望の方は、事前予約が必要です。1月末日までにものづくり経営研究センターアジア自動車産業研究会事務局へメールまたはファクシミリに ①会社(大学・組織)名、②所属・役職、③お名前、④連絡先電話番号、⑤メールアドレス をご明記の上、お送り下さい。会費は当日お支払い下さい(領収書有)。とくに参加証、請求書等はお送りいたしません。満員の際はご連絡いたします。

東京大学21世紀 COE プログラム ものづくり経営研究センター アジア自動車産業研究会事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-34-3 本郷第一ビル 8F  
<http://www.ut-mmrc.jp/> TEL 03-5842-5501 FAX 03-5842-5536  
E-mail [katsu@mmrc.e.u-tokyo.ac.jp](mailto:katsu@mmrc.e.u-tokyo.ac.jp) 担当:葛 東昇 携帯 080-5027-4625

<講師紹介>

**藤本 隆宏**

東京大学大学院経済学研究科教授

東京大学ものづくり経営研究センター センター長

□タイトル：「**ホンダのものづくり**」

- 略歴：1979年 三菱総合研究所入社  
1989年 ハーバード大学研究員  
1990年 東京大学経済学部助教授  
1996年 リヨン大学客員教授、INSEAD 客員研究員  
1996年 ハーバード大学ビジネススクール客員教授  
1997年 同大学上級研究員  
1998年 東京大学大学院経済学研究科教授  
2004年 ものづくり経営研究センターセンター長

**渡辺 洋男**

元本田技術研究所 常務取締役

元 HRA(ホンダ R&D アメリカズ)社長

□タイトル：「**HONDA独創の車作り**」

本田宗一郎という天才的ワンマンから凡才の東がそのDNAを引継いで、独創的なもの作りを行える環境作りと私の経験した開発事例を挙げてお話したいと思います。

- 略歴：1965年4月 東洋工業（現マツダ）KK 入社  
1968年3月 （株）本田技術研究所 入社  
1977年4月 同 主任研究員  
1982年5月 同 主任研究員、第3設計室（ボデー設計）MG（マネージャー）  
1985年5月 同 取締役主任研究員  
1987年5月 同 E.C.E（エキゼクティブ チーフ エンジニア）  
1989年7月 本田技研工業 KK 役員待遇参事 RAD（リプレゼンタティブ オブ オート  
モビル ディベロップメント）  
1991年3月 （株）本田技術研究所 常務取締役 商品企画室長  
1994年6月 同 常務取締役、HRA（ホンダ R&D アメリカズ）社長  
2000年3月 （株）ホンダ技術研究所 E.C.A（主席技術顧問）  
2001年8月 退職
- 携わった機種：81年モデル 初代 CITY 開発 LPL（ラージ プロジェクト リーダー）  
84年モデル 3代目 CIVIC 3・4D 開発 LPL  
85年モデル 初代 INTEGRA 開発 LPL  
88年モデル 4代目 CIVIC 開発 LPL  
91年モデル 2代目 LEGEND 開発 LPL  
その後 RAD として LEGEND、NSX 開発を担当

**岩本 邦雄**

元 本田技研工業（株）労政企画部長；元ホンダ開発（株）社長

□タイトル：「**自由闊達・チャレンジ・共創～ホンダの人づくり**」

- 略歴：1965年4月 本田技研工業（株） 入社・狭山製作所総務課  
1968年8月 同 本社人事課  
1977年3月 アメリカン・ホンダMGR（駐在） その後  
ホンダ・オブ・アメリカ設立 SMGR（駐在）  
1980年6月 本田技研工業（株） 本社労務管理課（課長）  
1987年6月 ホンダ・オブ・アメリカ MFG INC. VP（駐在）  
1992年4月 本田技研工業（株） TQM推進室（室長）  
1993年4月 同 労政企画部（部長）  
1995年6月 ホンダ開発（株）社長  
2002年6月 同 社長退任

## 伊藤 洋

元ホンダエンジニアリング（株）取締役

□タイトル：「**ホンダ** ものづくりの変遷、2輪車から4輪車へ」

- 略歴：1965年 本田技研工業株式会社入社。工務課 金型設計所属  
1974年 車体生産技術 開発などのプロジェクト  
1983年 ローバー・ホンダプロジェクト EG LPL  
1989年 ホンダエンジニアリング（株）取締役  
車体生産開発責任者、品質保証責任者としてボディ戦略を構築。  
1995年～ 対外活動：自工会 主査、自動車技術会等  
2001年～ 海外技術支援活動  
2004年より 東京大学ものづくり経営研究センター特任研究員。

## 門脇 轟二

元広州本田汽車有限公司 総経理、（HM地域執行役員）

□タイトル：「**ホンダ**営業の軌跡」

- 略歴：1965年 本田入社、外国部配属  
1976年 ベルギー本田駐在  
1979年 本社国内営業部4輪販売一課  
1982年 アメリカンホンダ駐在  
1987年 ホンダカナダ駐在  
1991年 本社営業企画室  
1993年 ホンダモーターチャイナ駐在  
1995年 兼ホンダ北京事務所駐在  
1998年 広州ホンダ駐在  
2004年 退任  
2007年 桃山学院大学客員教授

## 有澤 徹

元ホンダ技研 RAD（商品開発総合責任者）、（株）ホンダコムテック社長

□タイトル：「**モノづくりの思想（コンセプト）並びに企業展開その背景**」

- 略歴：1960年 本田技研工業入社 埼玉製作所 組立課  
1966年 本社営業部 渉外係  
1974年 販促部  
1983年 四輪企画室（室長）  
1987年 九州支店（支店長）  
1987年 国内二輪営業部長  
1991年 モーターレクレーション推進本部長  
1993年 営業企画室長 商品コミュニケーション座長  
1994年 商品開発総合責任者（RAD）  
1998年 ED（株）ホンダコムテック社長